

「チリンとドロン」コンサート interview

野々歩のチリンとなる鈴のような高い声は 優しく耳をくすぐり
田中馨のドロンとなるコントラバスの低い音色は 身体中をつつむ

Q1 「チリンとドロン」という名前の由来は？

もしかして、お母さんのお腹の中はこんな音だった？

A チリンドロン (chilindron) という名前はスペイン語でカルタ (トランプ) 遊びという意味です。スペイン料理で「チリンドロン」という有名な料理があります。この料理は、タマネギ、トマト、ピーマンなど炒め煮にしたソースのこと、色とりどりにちりばめられた野菜がカルタを散らしたように見えるところからこの名前がつけました。「チリンとドロン」も彩り豊かなカルタのように楽しい音の世界をと命名しました。



Q2 コンサートの特徴は？

赤ちゃんといっしょにステキな時間を

A 「チリンとドロン」の最大の特徴は、歌とコントラバスというシンプルな編成です。このちょっと足りない感じがどうも赤ちゃんたちにとってお気に入りのようです。その他、おもちゃや鳥笛、フィドル (バイオリン) なども登場し赤ちゃんといっしょにステキな時間を演出します。

手と手をとってふれあい遊び

A 「チリンとドロン」は、世界のわらべうたを収集しています。今回の乳幼児のコンサートでは、南米や東欧の珍しいわらべうたと共に、赤ちゃんといっしょにふれあい遊びをします。

お父さんお母さんもいつの間にか身体が揺れる

A 野々歩、田中馨と同世代のお父さんお母さんにとって「チリンとドロン」のビート感は、いつの間にか身体が揺れ、いっしょに口ずさみなくなる空気感を醸し出します。



「チリンとドロン」コンサート report

●とっても心地良い音楽と声、演奏に、ほんのひととき、酔いしれました。やさしくって、温かい気持ちになれますね。耳に心地良く、音楽が残っています。

●色々な国のあそびが覚えられて、楽しいと思いました。とても澄んだきれいな声の方で、いやされました。ステージのセットは、品が良くて若いママたちにも受けそうだと思います。



●最初、森の中へ迷い込んだような気がしました。日常から少し離れて、あたたかい歌声がきけて、良かったです。野々歩さんの歌声は、小さな子どもたちには (親にも) ぴったり! お二人とも自然体で、とてもよかったです。

●とてもかわいい歌声。やさしさに包まれるようでした。大きいけどソフトな楽器の音色との調和がすごかったです!